

券発行事業、基金管理事業、問寒別地区道営畑地帯総合基盤整備事業、小学校感染症予防対策事業、総合体育館等感染症予防対策事業を増額。各種事業の決算見込精査による減額。

◎集落支援活動運営事業に対する活動はどの程度実施できたのか。

◎健康増進系の小さなものを数回開催した。

◎幌延町まち・ひと・しごと創生事業の委託料のバイオガス事業検討支援業務と、食ブランド創出拠点の今年度の事業内容は。

◎バイオガス事業は、関係者を絞った中でヒアリング、農協青年部と意見交換を行った。その状況の成果品として令和2年度分を出す。食ブランドは、レシピエ化作業と地元食材をアレンジしての商品を開発しており、今回は牛肉やトナカイ肉、合鴨肉、酒を商品化した。

◎総合体育館改修では、工事の影響で、使用が制限されるのか。

◎できるだけ制限のかわらないように実施したい。

第2回 まちづくり常任委員会

3月2日

○調査事項（抜粋）

▽第6次幌延町総合計画前期基本計画

◎令和6年度のバイオガスプラント導入件数目標1件は何を指すのか。

◎売電収入できる可能性が見えてきたため、5戸程度集めテスト的にできるのではないかという件数。

◎売電できるようになり、集中型にしたということは、政策を変えたのか。

◎高圧売電で契約できるようになるが、バイオマスをやめることに変更はない。政策上は個別だろうと大規模であろうと変わらない。

◎今まで委託をかけて調査したのが無駄にならないのか。

◎データは無駄にならない。同じような形、システムでいく予定。

▽地域公共交通

すべての町民が均一な質の同じサービスでないにしても、何らかの地域交通のサービスを全町的に受けられる仕組みを構築してきた。幌延市街地区と幌延周辺地区、問寒別地区に分けて検討中。

10月の本格運行を目前に、町内全域予定として70歳以上の高齢者と交通弱者を対象としたデマンドハイヤーの運行を予定。

▽農業用水道の整備

簡易水道事業への移行は、上幌延開進地区は令和5年4月1日。問寒別地区は令和6年4月1日をそれぞれ予定。

利用料金の設定については、料金審議の場を設け、簡易水道への移行時期に間に合わせたい。

▽名林公園危険木伐採に係る診断装置との検証結果等

危険樹木10本を検討した結果、1本をシンボルツリーと同様に保護し、残り9本は伐採。

▽新型コロナウイルス感染症対策

感染症対応地方創生臨時交付金の第3次交付限度額が内示され、実施予定事業をまとめた。

ワクチン接種体制の予定は、医療従事者59人、65歳以上6百86人、基礎疾患を有する者約1百50人、高齢者施設等従事者約1百30人。消防の救急隊員はどこに含まれるのか。また、保健師は。

◎救急隊員は医療従事者に含まれる。他に診療所、歯科診療所、トナカイ調剤薬局、消防署職員が含まれる。

本町では感染者が発生していないため、保健師は一般と同じ扱いになる。

◎接種者に案内はあるのか。

◎案内とクーポンが届くので、その後各医療機関等に予約して接種となる。



編集後記

今年は大雪の年でありましたが、3月になると雪解けが一気に進み、春の足音が聞こえてきました。

春は出会いと別れの季節ではありますが、新型コロナウイルスの影響で式典などは縮小しての開催となりました。ですが、心は大きく羽ばたいてほしいものです。

春になるとタンチョウがサロベツ原野に戻ってきます。タンチョウは一度結婚すると一生生涯に過ぐすと言われています。出会いを大切に、一生生涯共に過ぐすような交友関係を築いていきたいものです。

編集委員長 吉原 哲男
副編集委員長 無量谷 隆
編集委員 斎賀 弘孝

西澤 裕之